

別海高校NOWの発行にあたって

北海道別海高等学校長 織井 恒



別海高校NOWの発行を始めて、8年目を迎えました。当初は、中学生に別海高校や高校での生活について、少しでも知ってもらおうというねらいではじめました。

今回、いまいちど当初の目的を確認し、原点に返って内容の見直しを図りながら発行していきたいと思います。私も定期的に記事を書かせていただこうと思いますので、よろしくお願いいたします。

高校卒業後の進路についても、大学入試の方法が多様化したり、企業の採用方法が多岐にわたっており、テストの点数や学歴だけではうまくいかない世の中になってきました。この別海高校NOWがみなさんのキャリア形成の一助になれば幸いです。

宿泊研修の時期と場所を変更しました

昨年度まではGW明けにネイパル厚岸で行っていましたが、今年の1年生から時期を4月の第2週にし、場所もネイパル北見に変更しました。理由は小中学生の時にネイパル厚岸を利用している生徒が多く新鮮味がないこと。近くに見学施設もなく研修内容がマンネリ化していたこと。時期についても入学後なるべく早い時期に行い、クラス内の人間関係の構築を早く行うというねらいで早くしました。宿泊研修をとりやめる学校が増えていますが、生徒諸君のことを考えると貴重な体験になると思うので、別海高校としてはこれからも続けていきたいと思っています。（文：織井）

宿泊研修を実施して

1学年主任 東 起樹

4月16日（火）～18日（木）に北見市にあるネイパル北見に宿泊研修で行って参りました。別海高校としてネイパル北見に行くのは初めての試みで慣れないことも多々ありましたが、学校とは違う一面が多く見られてとても充実していた3日間でした。

例年は5月に宿泊研修に行くのですが、今年はこの時期に設定しました。まだ入学して1週間しか経っていませんがこの宿泊研修で、同じごはんを食べ、同じ部屋で寝て、同じ研修を受けたことでクラス・学年の絆が深まり、「よりよい集団」へと近づいたと感じています。

宿泊研修で学んだことを今後も活かして学校生活を送ってほしいです。

中学生の皆さんもネイパルを利用した人が多くいると思いますが、高校との違いや集団づくりの意味を感じてくれたら嬉しく思います。



TEL: 0153-75-2053（事務室）

0153-75-3349（職員室）

FAX: 0153-75-2263

別海高校公式SNSです！フォローしてください



宿泊研修を通して

1年B組担任 富田 雄平



今回の宿泊研修では、全体を通して生徒同士が楽しく関わる場面が多く見られました。

特に、今回訪れた北見は天候にも恵まれて、2日目のハザードマップラリーでは防災について真剣に学習する様子を見ることができました。

B組の生徒達も初めは緊張していましたが、様々な研修をこなす中で徐々に活発な意見が出るようになり、クラス毎に定めるクラス目標の話し合いではホームルーム長の齋藤祐司君を中心に「メリハリのある互いに尊重できるクラス」という目標を設定することができました。

今回の宿泊研修を通してB組および学年としても良いスタートを切れたと思います。今後の学校生活でも自主性や主体性が発揮されるように指導していきたいと思います。

宿泊研修の振り返り

1年D組 山下 一



僕は今回の宿泊研修でいろいろな人たちと関わることで仲を深めることが出来て、とても楽しかったです。また、全てのプログラムで時間を守って行動できたことが良かったです。宿泊研修の中で一番面白かった活動はオニオンニとフロアカーリングです。オニオンニは北見市が発祥で、しっぽ取りゲームと玉入れを合わせたようなスポーツです。身体にくっつけたタマネギを相手チームと取り合いました。ルールが分からなかったときがありましたが、チームで協力できた楽しかったです。フロアカーリングでは、クラスが混ざり合った4人1組でチームになり、協力しながら勝利を目指しました。

普段関わらないチームメイトと協力してやり遂げたことがとても印象的で楽しかったです。今回の宿泊研修で得た経験を活かして、これからの行事で皆が協力し合えるクラス、学年にしたいです。僕のクラスは3人ですが、どのクラスにも負けない団結力のあるクラスにしたいです。

宿泊研修の振り返り

1年A組 内藤初音

今回の宿泊研修では、ドミノ、フロアカーリング、オニオンニなど沢山の活動を行いました。どの活動もとても楽しかったです。

宿泊研修の成果は2つあります。

まず1つ目は、時間をみて行動することです。

初めは不安定な部分もありましたが、時間が経つにつれ、1学年全員の意識が高まり、5分前には全員が集合場所についてました。

2つ目は、より良い人間関係を形成したことです。まだ入学してから1週間しか経っていない中での宿泊研修でしたが、全員が積極的にコミュニケーションをとり、組や性別に関係なく仲を深めることが出来ました。

この成果を今後の学校生活に活かしていきます。

